

リアルワールドデータの網羅的解析による「詳細な発症メカニズムの解明や根本的治療の確立が必要な疾患」の発症危険因子や発症抑制因子の探索に関する研究

1. 研究の対象

1981年10月から2020年12月までに、当院で何らかの受診をされた方

2. 研究目的・方法

医療が進歩した現在においても、発症メカニズムの詳細が不明であったり、有効な治療方法が確立していなかったりする疾患は多く存在します。そうした疾患の中にはアルツハイマー型認知症や各種の自己免疫疾患、過敏性腸症候群があります。

それらの疾患は罹患者数も多く、原因の究明や有効な治療方法の確立が喫緊の課題です。一方で、臨床現場ではそうした疾患に対する診断や対症的な治療は日々行われており、それらの記録は病院情報システムにより電子化されたデータとしても蓄積されつつあります。そうしたReal Worldデータの集積を網羅的に探索することにより、発症メカニズム解明の手がかりや発症抑制因子の検討により新たな治療方法の手がかりがもたらされる可能性も考えられます。

本研究では、病院情報システムに蓄積された診療データを網羅的に解析することにより、アルツハイマー型認知症および関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、糸球体腎炎等の自己免疫疾患、そして過敏性腸症候群の発症に関係する因子や発症抑制の可能性のある因子の探索を行います。

この研究は、倫理委員会承認日～2027年3月31日まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、検査履歴、処方履歴、手術などの処置歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立高知大学大学院医学部附属医学情報センター 畠山 豊

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部附属医学情報センター

088-880-2539

研究責任者：

国立高知大学大学院医学部附属医学情報センター 奥原 義保